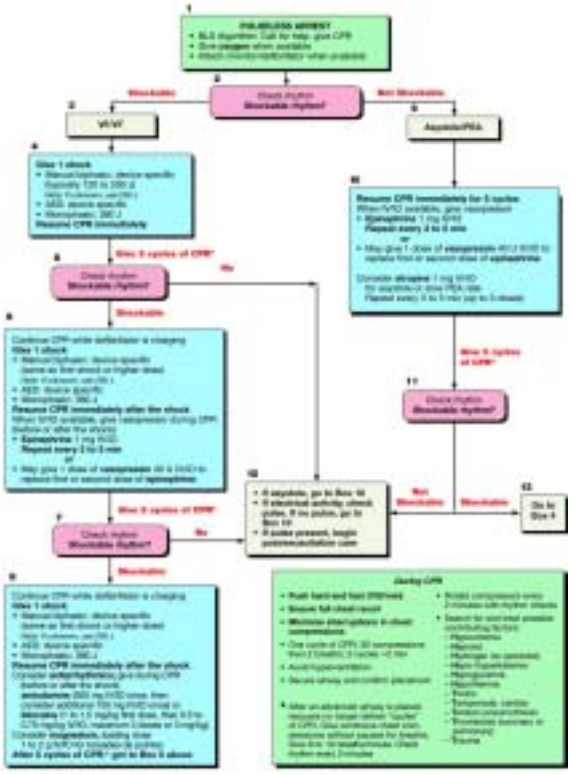
2005 年 AHA より新ガイドラインが発表され、改訂されている。詳細は AHA homepage(http://www.americanheart.org/) のガイドラインの項を参照のこと。レクチャーでは主に変更点などを強調していた。



VF/Pulse less VT について

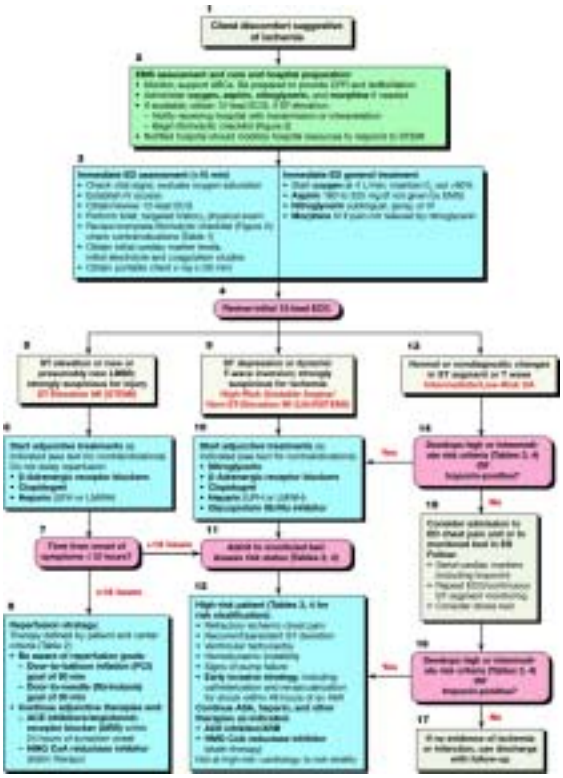
アルゴリズム参照。院外ではカージオバージョンは 5 分以内、院内なら 3 分以内に行うことが必要である。1 分ごとに、生存率は 7-10%減少する。

モニター付き除細動器を循環器 Dr が使うより、モニター無し（つまりは AED）を用いる方が、カージオバージョン成功までの時間が短い。

　気管内挿管は急ぐ必要はなく、バックマスク換気(BMV)を行ってさえいればよい。とにかくカージオバージョンを優先することが強調されていた。

PEA について

原因の診断と治療が重要である。



AMI に対する ACLS

MONA(Morphine,Oxygen,Nitro,Aspirin)後、β ブロッカーを用いること。classI.禁忌項目の確認。(BP100 以下、徐脈傾向など)

徐脈・ブロックに対しては、アトロピンもしくは経脾ペーシング。

血圧低下時は DOA を使用。著明な低血圧時はノルアドを使用し、sBP>80 で DOA を併用すること。DOB は BP>90 で用いる。IABP によるメカニカルサポートも検討。